

令和 7 年度の県内市町村の G X 推進に関するトピック

市町村名	取組内容
盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> ・市公共施設への E V スタンド設置：民間事業者との協業により、公共用地を賃貸借し、事業者が運営するEVスタンドを無償で設置した。（5施設） ・市役所都南総合支所をリース契約によりLED化した。
宮古市	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 7 年12月に夜間連系太陽光発電所が商業運転開始し、そこで発電した電力を宮古新電力(株)を介し環境価値付きの電力として公共施設（18施設）へ供給している。 ・市民ファンドを実施し、約 1 か月の募集期間で11,900千円の申込（個人26名、法人 2 社）があった。
北上市	北上市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定
久慈市	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素先行地域事業のうち、オフサイト太陽光発電設備の整備完了 ・地域裨益ガイドラインに基づく協定締結（HSE株式会社）
遠野市	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県自立・分散型エネルギー供給システム設計等支援事業費補助金を活用し、公共施設への太陽光発電設備等導入調査を実施した。 ・地域エネルギー会社が設立された。
陸前高田市	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素先行地域事業の 1 年目として事業を実施 ・営農型太陽光発電及び新設ホテルへの薪ボイラー導入に向けた設計、公共施設への省エネシステム導入（3施設）、グリーンスローモビリティの追加導入（1台）、E V 充電ステーションの設置（2施設）を実施した。
釜石市	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー（太陽光、陸上風力（大型、中型・小型）、中小水力、木質バイオマス熱利用、洋上風力等）導入に係るゾーニングマップを作成し公表した。 ・脱炭素先行地域事業(2年目)に取り組んだ。 PPAによる一般住宅への太陽光発電、蓄電池導入（1件）、薪ストーブ導入（3台）

二戸市	県企業局の「稲庭風力発電所」で発電された電力の地産地消と脱炭素化を推進するため、同発電所の小売電気事業者として県と協定を締結した久慈地域エネルギー(株)に出資し、市内小中学校及び浄法寺地区の主な公共施設で再エネ電力に切り替えた。
八幡平市	「GX戦略地域制度(脱炭素電源活用型)」への申請を行った。
葛巻町	「地方創生伴走支援制度」の採択を受けて、地域の脱炭素化に向けた取組について、伴走支援官3名の協力をいただきながら関係機関との協議を実施し、課題整理や今後の方向性の検討を行った。
紫波町	メタン発酵バイオガス発電設備の整備開始
金ヶ崎町	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設6施設をLED化(脱炭素化推進事業債活用) ・プラグインハイブリット車1台導入 ・指定避難所へ太陽光パネル付き蓄電池導入 ・一般家庭における省エネ家電への買換えに対する補助事業(申請115件) ・グリーンカーテン推進事業(一般家庭3世帯、民間事業所3社)
住田町	住田町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定
大槌町	釜石広域ウインドファームの風力発電施設更新が終了し、令和8年3月から新山高原にて稼働開始
山田町	県の地域温暖化対策実行計画等策定事業費補助金を活用し、山田町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定
軽米町	<p>折爪岳風力発電所完成(令和7年12月稼働)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・折爪岳風力発電合同会社(JR東日本エネルギー開発出資)が、高さ154メートルの風車2基を設置。1基当たりの最大出力は4.3MW、年間発電量は19GWhであり、一般家庭約4,800世帯の消費電力に相当 ・町と事業者が協定書を締結し、事業の収益の一部を地元貢献の一環として活用